

資料 3

1. 未来への希望を育む子育て・教育

(3) 小中学校の通学時の荷物の軽量化を求めて

- ① 児童生徒の通学時の荷物が重すぎる事から、健康に異常をきたす前に、持ち物の軽量化の工夫をしてはどうか

【答弁】

1. 未来への希望を育む子育て・教育の(3)の①についてお答えいたします。

学校で使用する教科書等につきましては、全国的に見ますと、家庭学習等との関連から、原則、日々持ち帰るよう指導されているところが多く、本市においても同様であります。

しかしながら、議員ご指摘のとおり、近年、小中学校では指導内容の増加に伴い、使用する教科書が分厚くなったり、大型化したりしており、子どもたちの通学時の持ち物負担が増していることが、報道においても取り上げられております。

また、「体重の20パーセントから30パーセントを越える荷物を長時間持ち続けると、腰痛や肩こりの原因となる等、健康に悪影響を及ぼすこともある」との専門家の意見もございます。

通学時の持ち物負担につきましては、文部科学省においても軽減に向け、適切に工夫するよう全国の教育委員会に求める方針を決定したと聞き及んでおります。

本市教育委員会といたしましては、家庭学習の習慣は維持しながらも、子どもたちの健康状態に悪影響が出ないように、文部科学省からの通知の主旨を踏まえ、子どもたちの発達段階や通学負担などに応じて、宿題や予復習で使用しない教科書は学校に置いておく、いわゆる「置き勉」や時間割の工夫等、通学時の荷物の軽量化について、学校と連携して検討してまいりたいと考えております。